講演のご案内



加賀谷隼輔

SHUNSUKE KAGAYA

精神科医・あすとながまち心身クリニック院長

精神科専門医／精神保健指定医

加賀谷隼輔。精神科医・あすとながまち心身クリニック院長。精神科専門医／精神保健指定医。AIとメンタルヘルス、疲労、睡眠、感情をテーマに、講演・執筆・音声配信を行う。2010年、医師となる。東北大学精神科医局に在籍した後、精神科病院に勤務。前職では診療部長を務めた。Voicy「精神科医のココロに効くラジオ」を配信。著書に『精神科医が教えるくたくたな脳と心の休め方』（扶桑社）。

THEMES

講演テーマの例

01 AIを使えば楽になるはずなのに、なぜ私たちは疲れるのか

精神科医が考える、AI時代の脳疲労と働き方

生成AIが認知負荷を減らす場面と、情報過多、判断疲れ、仕事の高速化によって新たな負荷を生む場面を整理します。疲労、回復、睡眠まで含め、人がAIを持続的に使うための考え方を解説します。

対象の例：全社員、管理職、AI・DX推進部門

02 社員がAIに悩みを相談する時代

精神科医が考える、AI相談の可能性と限界

人がAIに悩みを相談するとき、何が助けになり、どこに限界やリスクがあるのか。プライバシー、依存、人の支援へのつながり方を含め、現在わかっていることを整理します。

対象の例：全社員、管理職、医療・福祉従事者

03 心と脳の疲れを、どう休めるか

疲労・睡眠・感情から考える、持続可能な働き方

疲労、睡眠、感情の働きを精神医学の視点から整理し、無理を重ねる前に自分の状態へ気づき、休み方を選ぶための考え方をお伝えします。

対象の例：全社員、管理職、医療・福祉従事者

これまでの登壇から

SELECTED TALKS

2026.06.18

第122回日本精神神経学会学術総会

診察室のShadow AI：患者の自律的AI利用実態と変容する治療同盟のリアル

対象：精神科医・精神医療に携わる方

学会発表の実績です。関連論文は投稿中・未受理です。

2026.07.18

岐阜大学医学部附属病院

第9回 周産期メンタルヘルス講演会　特別講演「妊産婦が精神科の扉を開けるまで〜紹介の言葉と外来で語られない声〜」

対象：産婦人科医・助産師・看護師など

2025.11.13

北海道教育委員会

令和7年度 健康教育推進研究協議会　「急速に進化するAI 子どもたちの心への影響と向き合い方」

対象：養護教諭をはじめとする教職員・教育行政の担当者

FEES & FORMAT

企業向け講演 / 60〜90分

40万円（税別）から

自治体、教育機関、学術団体：各団体の謝金規程に応じてご相談ください。

交通費、宿泊費、録画、社内アーカイブ、二次利用は別途見積り。

対面・オンラインに対応。対象と開催目的に合わせて、演題と内容を相談します。

講演のご相談

開催目的、対象・人数、日程候補、開催形式をお知らせください。

ご相談は加賀谷隼輔本人が確認し、原則5営業日以内に返信します。

kagshun.com/#contact